

陸普

回答

陸軍省ヨリ工業品規格統一調査會ハ
昭和十年六月十六日〇二規第七八號ヲ以テ
照會セラレシハ首題ノ件ニ關スル意見見左
記ノ通ニ件承知相成度

左

記

陸普第五〇二六號

昭和十年九月九日

一 第二第三表中ノ重量公差欄ノ標準板數ノ意
味ヲ明記セラレ度

二 第六條重量公差同一種類亜鉛鋼板……トアルハ同
一種類、亜鉛めっき鋼板レチラスヤ

理由、酸洗ハめっき前、鋼板ノ意チラン

陸普

鐵道（鐵道用鋼線等）ハ十年前十部三十代或ニ於茲水産部鐵道部ニ榮

尺、建設部ニ關スル申渡シ事ハ、一司事、建設部ニ榮

器材

陸軍省 第一二五二號

一〇工規第七八号

昭和十年七月十六日

昭和十年七月十七日 午後 官 長

工業品規格統一調査會 第一部長

陸軍省

御中

工業品規格統一調査會第一部第一委員會ニ於テ亞鉛鋼板ノ規格統一ニ
関シ審議中ニ有之候処今般別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民ヲ
通シテ其ノ実行普及ヲ期セラルヘキモノニ有之候ニ付テハ右ニ関スル
御意見承知致度候条来八月二十日迄ニ商工省臨時産業合理局内本調査
會宛御回示相煩度此段及照會候也

陸軍省 10.7.18 器材課

日本祭典間受付タル遺族及特別參拜者ノ數左表ノ如シ

日次

新 遺 族 舊 遺 族 特 別 參 拜 者

永久甲 帝

政務次官 回付 決裁前後連帶課名 **統制** **統施** **器材** **軍事** 決行(決裁)後 回覽課名

案命

保存期限

決裁指定

決行指定

牛島

受領番號 壹第三七三號
 件名 石油業法施行令第六條ノ特例ニ關スル勅令案ノ件
 起元處(課)名 商工省

大臣 委

政務次官	參與官	書記官	審案 筆記者
次官	高級 副官	主務副官	
主務 局長	主務 課長	主務課員	

大臣官房	主務局長	連帶	決行後 行覽
受領	受領	提出	了結
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日
號番 整動一第 九九號	昭昭和拾年九月拾壹日	昭昭和拾年九月拾壹日	昭昭和拾年九月拾壹日

本件ニ關スル説明ノ要員ヲ長カシテ之ヲ管ニ付連ノ條トシテ

田邊 勳 陸軍省

陸軍省 領 第一〇三三 號

閣商第三〇號

昭和十年九月十日

商工次官 吉野信

陸軍次官 橋本虎之助 殿

次

豫テ御協議致置候石油業法施行令第六條ノ特例ニ關スル勅令案九月十日附テ以テ別紙ノ通閣議決定方稟請相成候條御意見有之候ハバ至急法制局又ハ當省ニ御申出相成度此段申進候也

海和昭 10.9.10 陸軍省 大 臣 官 印

商工 陸軍省 10.9.10 勅令 第五九號 勅令 勅員 勅課

勅 令 案

勅 令 第 號

石油精製業者又ハ石油輸入業者ノ保有スベキ石油ノ數量ニ付テハ昭和十一年六月三十日迄石油業法施行令第六條第一項本文ノ規定ニ拘ラズ命令ノ定ムル所ニ依ルコトヲ得

附 則

本令ハ昭和十年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

興掛全員意ニ服務セリ其狀況次ノ如シ
四月十六日三
五月一日ニ至ル六日間實施シ餘

理由書

石油業法施行ノ經過ニ鑑ミ此際石油業法施行令第六條ニ付暫定的ニ特
例ヲ設ケ石油保有義務ノ一部ノ履行ヲ昭和十一年六月三十日迄延期シ
其ノ間ニ於テ石油保有制度ニ關シ適當ナル措置ヲ講ジ以テ石油保有ノ
圓滑ナル實施ヲ期スル爲本令制定ノ必要アルニ由ル

商工省

平三川平野四湖代至正和二年八月間並樂堂二領元奉陪之數日並民で遊べり

保存期限

十年

決裁指定

局長

決行指定

手島

政務次官 回付
決裁 前後連帶
課名

決行(決裁)後
回覽課名

永命

受番 壹第 二四七六號
件名 用紙規格案ニ関スル件
起元廳(課)名 工業局規格統一調査会

大臣 委
政務 次官
高級 副官
主務 副官
書記官
審案 筆記者

主務 局長
主務 課長
主務 課員
主務 課員

大臣	大臣	大臣	大臣	大臣
次官	次官	次官	次官	次官
高級副官	高級副官	高級副官	高級副官	高級副官
主務副官	主務副官	主務副官	主務副官	主務副官
書記官	書記官	書記官	書記官	書記官
審案筆記者	審案筆記者	審案筆記者	審案筆記者	審案筆記者
局長	局長	局長	局長	局長
課長	課長	課長	課長	課長
課員	課員	課員	課員	課員
課員	課員	課員	課員	課員
受領	受領	受領	受領	受領
提出	提出	提出	提出	提出
了結	了結	了結	了結	了結
昭和十年八月十日	昭和十年八月十日	昭和十年八月十日	昭和十年八月十日	昭和十年八月十日
昭和十年九月十日	昭和十年九月十日	昭和十年九月十日	昭和十年九月十日	昭和十年九月十日
昭和十年九月十日	昭和十年九月十日	昭和十年九月十日	昭和十年九月十日	昭和十年九月十日

二二第

陸普 回 答

陸軍省ヨリ工業品規格統一調査會ハ
 昭和十年八月八日口ニ規第八六號照會ニ
 係ル旨題ノ件ノ意見見無之候

陸普第五二二一號 昭和十年九月十七日



大正	陸軍省	工業品規格統一調査會	昭和十年八月八日	口ニ規第八六號照會
陸軍省	工業品規格統一調査會	昭和十年九月十七日	陸普第五二二一號	

能樂協會ノ五流、梅若、淺見ニ依リ四月廿七日ヨリ五月一日ニ至ル五日間正



屋組合、柳桶鑿好屋組合、松竹奉絆ノ各種準據ヲ五日間ニ互リ午後六時半ヨ

陸軍省 第一四七五號

一〇工規第八六号

昭和十年八月八日

工業品規格統一調査會 第二部 長

陸軍省 10.8.10 器材課

陸軍省

御中

工業品規格統一調査會第二部第十委員會ニ於テ印刷用紙0.5並筆記用紙1.1ノ規格統一ニ関シ審議中ノ処今般別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民ヲ通シテ其ノ実行普及ヲ期セラルヘキモノニ有之候ニ就テハ右ニ関スル御意見承知致度候条来九月十日迄ニ商工省臨時產業合理局内本調査會宛御回示相煩度此段及照會候也

別紙 10

器材

陸軍省

十部

以奉衣卷二上り

二休土

保存期限

十年

決裁指定

局長

決行指定

子島

第二三番

政務大官 回付 決裁 前後連帶 課名

決行(決裁)後 回覽課名

永久甲

受領番 壹第三五三號 起元廳(課)名 工業品規格統一調査会

件名 水道用銅管規格案ニ関スル件

大臣 委	政務次官	高級副官	主務副官
局長	參與官	書記官	審案 筆記者

主務局長	受領	提出	了結
昭和十年八月十五日	昭和九年九月十日	昭和九年九月十日	昭和九年九月十日
番號 第一二八			
連帶	決行後	決行後	決行後
局長	局長	局長	局長
課長	課長	課長	課長

陸 普

同 之 旨

陸軍省ヨリ之業局規格統一調査令ハ
昭和十年八月九日一〇之規第八七號照會首題
ノ件之是見無也候

陸普第五二二二號昭和十年九月十七日

水取用國語財源案ニ關スル件
陸軍省ヨリ之業局規格統一調査令ハ
昭和十年八月九日一〇之規第八七號照會首題
ノ件之是見無也候

ル者亦多數ニ上リタリ

七、花、火、

三打上

七、花、火、ヲ實施セリ



前例ニ依リ興行及露店ノ代表者ヲシテ全般ノ取締ニ任セシメ又憲兵及掛員巡

一〇工規第八七号
二五三一三號

昭和十年八月九日

工業品規格統一調査會

第一部長



陸軍省

御中

器材

工業品規格統一調査會第一部第一委員會ニ於テ水道用電気熔接鋼管並水道用継目無鋼管ノ規格統一ニ関シ審議中ノ処今般別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民ヲ通シテ其ノ実行普及ヲ期セラレヘキモノニ有之候ニ就テハ右ニ関スル御意見承知致度候衆未九月十日迄ニ商工省臨時産業合理局内本調査會宛御同示相煩度此段及照會候也

別紙
10
10

第四二第

保存期限 永久
決裁指定 局長
決行指定 牛島

政務大官 回付 決裁 前後一連帶
參與官

房官臣大		課局務主		大臣	件名	番受 號領	起元應(課)名
了結	領受	出提	領受				
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	局長 主務	日本標準規格告示ニ関スル件	第 〇〇〇 號	商工省
(裁決)行決後 覽回		帶連		次官			決行(決裁)後 回覽課名
局長		局長		政務 次官			
局長		局長		參與官			
長課		長課		高級 副官			
長課		長課		書記官			
				主務副官 官房御用掛 計			
				主務課員			
				審案 筆記者			

永久命 帝

陸普

同 答

大臣ヨリ商工大臣町田忠治一

昭和十年十月一日附左記番號ヲ以テ照會
セラレタル日本標準規格ノ告示ニ関シテハ
異存無シニ付承知相成度

左記

- 一、〇〇合理第四六四一號
- 二、〇〇合理第四六四二號
- 三、〇〇合理第四六四五號
- 四、〇〇合理第四六四三〇號

以上

陸普第五九一七號 昭和十年十月十六日

陸普



契

秋山 器材

陸軍省 受領 第一三一二一號

一〇合理第四六四一號

昭和十年十月八日

10.1.10 前大臣 官

陸

(別紙添附)

商工大臣 町田 忠治

陸軍大臣 川島 義之 殿

商工大臣 町田 忠治

左記 四件ノ標準規格ニ付工業品規格統一調査會ノ答申ニ基キ別案ノ通告示致度候條御意見至急御回示相煩度此段及照會候也

記

10月11日 別紙 陸軍省 器材

陸軍省 10.10.10 器材

一、ストームレールブラツケツト
二、ヂヤツクステーブルツケツト
三、天幕装置（船用）
四、石炭落口（船用）

商
工
省

大



陸軍省 第一三三三號

一〇合理第四六四二號

昭和十年十月八日



(別紙添附)

商工大臣 町田 忠治



陸軍大臣 川島 義之 殿

左記七件ノ標準規格ニ付工業品規格統一調査會ノ答申ニ基キ別案ノ通告示致度候條御意見至急御回示相煩度此段及照會候也

記

10月11日 別紙添附 署名 署名

- 一、四角ボルト（メートルねぢ）
- 二、四角ボルト（ウイツトウオースねぢ）
- 三、四角ナット（メートルねぢ）
- 四、四角ナット（ウイツトウオースねぢ）
- 五、木材用四角ボルト（ウイツトウオースねぢ）
- 六、平 行 ピ ン
- 七、接 手 ピ ン



陸軍省 領 壹第三一一三號

一〇合理第四六五五號

昭和十年十月八日



別紙添附

商工大臣 町田 忠 治

陸軍大臣 川 島 義 之 殿



左記四件ノ標準規格ニ付工業品規格統一調査會ノ答申ニ基キ別案ノ通告示致度候條御意見至急御回示相煩度此段及照會候也

記

別紙
10月11日
器材課
印者務主

四印	三印	二印	一印
刷	刷	刷	刷
用	用	用	用
紙	紙	紙	紙
04	03	02	01

商
工
省



陸軍省 領 壹第三二四號

一〇合理第四八三〇號

昭和十年十月八日

(別紙添附)

商工大臣 町田忠治

陸軍大臣 川島義之殿

左記九件ノ標準規格ニ付工業品規格統一調査會ノ答申ニ基キ別案ノ通告示致度候條御意見至急御回示相煩度此段及照會候也

記

10月11日 別紙 器材課



電 氣 工 業 用 電 器 類

・
・
・
・

十
十

商 工 省

- 一、平角銅線
- 二、配電盤
- 三、線輪用碍子
- 四、ひだ付圓筒台碍子
- 五、圓錐台碍子
- 六、ひだ付圓錐台碍子
- 七、硼珪酸ガラス製ひだ付圓筒台碍子
- 八、硼珪酸ガラス製圓錐台碍子
- 九、乾電池

三 能 樂
二 次 相 撲

十四 四

政務次官 回付 決裁 前後 連帶 課名

決行(決裁)後 回覽 課名

永介 市

保存期限		決裁指定		決行指定		牛島	
受領番		件名		大臣 委		局長 主務	
臺第三二四		日本標準規格告示ニ関スル件		次官 委		局長 主務	
起元廳(課)名		商工省		高級 副官		局長 主務	
牛島		書記官		主務 副官		局長 主務	
主務課員		審案 筆記者		主務課員		局長 主務	
昭和三十二年十月廿五日		昭和三十二年十月廿五日		昭和三十二年十月廿五日		昭和三十二年十月廿五日	

陸 事

陸 普 同 答

大臣ヨリ商工大臣野田忠老へ
 昭和十年十月十四日附
 令理第四六一一號
 照會ニ係ル鋼索ノ標準規格告
 示ニ関シテ、異存無之候

陸普第五九九五號 昭和十年十月廿一日

陸 普	同 答	大臣ヨリ商工大臣野田忠老へ	昭和十年十月十四日附	令理第四六一一號	照會ニ係ル鋼索ノ標準規格告	示ニ関シテ、異存無之候	陸普第五九九五號	昭和十年十月廿一日
-----	-----	---------------	------------	----------	---------------	-------------	----------	-----------

陸普第五九九五號

昭和十年十月廿一日



三 續 樂
 二 次 蘇 謝



陸軍省 領省 壹第 三二八四 號

一〇合理第四七一號

昭和十年十月十四日

商工大臣 町田 忠 治

陸軍大臣 川 島 義 之 殿

鑛山用鋼索ノ標準規格ニ付工業品規格統一調査會ノ答申ニ基キ別案ノ通告示致度候條御意見至急御回示相煩度此段及照會候也



商工省



昭和十年十月十四日

若別紙



第二之號

保存期限 永久	決裁指定 局長	執行指定 牛島
------------	------------	------------

大臣 委		局長 主務		政務 次官		事務 次官		參與官		書記官		審案 筆者	
番受 領號		番號		局長		高級 副官		主務副官 官房御用掛 計		主務課員		審案	
昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		昭和 年 月 日	
了結		領受		提出		領受		號番		案號		案號	
昭和三十二年		昭和三十一年		昭和三十一年		昭和三十一年		昭和三十一年		昭和三十一年		昭和三十一年	
局長		局長		局長		局長		局長		局長		局長	
課長		課長		課長		課長		課長		課長		課長	
主務課員		主務課員		主務課員		主務課員		主務課員		主務課員		主務課員	

表第三一三號
丸栓外五規格案ニ関スル件
起元廳(課)名
工業品規格統一調査會

政務次官回付
決裁前後連帶
課名

執行(決裁)後
回覽課名

永久
甲

陸軍

器材

陸軍省 第一〇七号

一〇工規第一〇七号

昭和十年十月十日

工業品規格統一調査會

第四部 長

陸軍省

御中

工業品規格統一調査會第四部第六委員會ニ於テ左記工業品ノ規格統一ニ関
 シ審議中ニ有之候処今般別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民ヲ通シテ
 其ノ実行普及ヲ期セララルベキモノニ有之候ニ付テハ右ニ関スル御意見承知
 致度候矣来十月末日迄ニ商工省臨時産業合理局内本調査會宛御回示相煩度
 此段及照會候也

記

- 一 丸 栓規格案
- 二 皿栓、丸皿栓及特殊丸皿栓規格案
- 三 木製手摺規格案
- 四 木製手摺用金具規格案
- 五 折栓規格案
- 六 船側口扉規格案

10 別紙 26



第七二第

牛島

執行指定

局長

決裁指定

永久

保存期限

政務次官回付 決裁前後連帶

執行(決裁)後
回覽課名

永久印

國庫對手

式木園三

養蕪支文組

受領番號
壹第三三三三號
起元廳(課)名
商工省
件名
日本標準規格告示件

大臣委

委

牛島

牛島

牛島

政務次官

參與官

書記官

審案
筆記者

主務局長

高級副官

主務副官
官房御用掛

主務課員

番號
第三一三三號

受領
昭和十年十月廿四日

提出
昭和 關本真井吉日

受領
昭和 年 月 日

了結
昭和 年 月 日

決裁後
(裁決)覽

局長

長課

連帶

局長

長課

陸軍

陸普

回答

大臣ヨリ商工大臣 町田忠治
昭和十年十月二十一日
照會ニ係ル「コンクリート」骨材試験節外
八件、告示ニ関シテハ異存無之候

陸普第六一五五號 昭和十年十月廿八日

姓名	日本製紙株式會社
住所	東京市千代田区
業種	製紙業
代表者	社長 藤田 三郎
代理人	藤田 三郎
申請年月	昭和十年十月
備考	

（印章）

陸軍 竹内 秀太郎

陸軍 佐々木 國三

陸軍 齊藤 丈之助



陸軍省 陸軍部 第三十七號

一〇合理第四八八三號

昭和十年十月二十二日

商工大臣 町田 忠 治

陸軍大臣 川 島 義 之 殿

左記九件ノ標準規格ニ付工業品規格統一調査會ノ答申ニ基キ別案ノ通告示致度候條御意見至急御回示相煩度此段及照會候也

記



商工省



同 高 田、七、郎

- 一、コンクリート骨材試験篩
- 二、スパナノ口徑ニ適合スル部分ノ標準寸法
- 三、自動車用クラッチ表張ノ寸法
- 四、自動車用圓板狀車輪ノ取付寸法
- 五、自動車用リムノ輪廓及外周
- 六、自動車用テーパー軸端
- 七、自動車用點火栓
- 八、自動車用氣化器フランジ面
- 九、自動車用ユニオン管接手

第一八八號

執行指定



決裁指定

三年

保存期限

政務次官 回付 決裁 前後連帶
課名

決行(決裁)後
回覽課名

永久甲 帝

大臣		件名		受領番號
委員		石油製品試驗器具規格案ニ關スル件		壹第 二九四三號
局長	次官	政務次官	參與官	起元廳(課)名
主務局長	高級副官	參與官		製品規格統一調査會
主務課長	主務副官	書記官		
主務課員	官房御用掛	審案		
主務課員	主務課員	審案		
局長	局長	局長		
昭和三十二年十月廿七日	昭和三十二年十月廿七日	昭和三十二年十月廿七日		
昭和三十二年十月廿七日	昭和三十二年十月廿七日	昭和三十二年十月廿七日		
昭和三十二年十月廿七日	昭和三十二年十月廿七日	昭和三十二年十月廿七日		
昭和三十二年十月廿七日	昭和三十二年十月廿七日	昭和三十二年十月廿七日		

牛島

秋山

臣

陸普

同 答

陸軍省ヨリ工業品規格統一調査會へ

昭和十年九月三日附一〇二規第九七號

照會ニ係ル首題ノ件 別紙ノ通同答ス

陸普第六三二七號

昭和十年十二月五日

陸軍省
陸軍省
陸軍省

入組	大宮	大宮	大宮	大宮	大宮
大宮	大宮	大宮	大宮	大宮	大宮
大宮	大宮	大宮	大宮	大宮	大宮
大宮	大宮	大宮	大宮	大宮	大宮
大宮	大宮	大宮	大宮	大宮	大宮
大宮	大宮	大宮	大宮	大宮	大宮
大宮	大宮	大宮	大宮	大宮	大宮
大宮	大宮	大宮	大宮	大宮	大宮
大宮	大宮	大宮	大宮	大宮	大宮
大宮	大宮	大宮	大宮	大宮	大宮

昭和十年九月三日附一〇二規第九七號

陸軍省

一、十三頁M項ノ次ニ左記追加セラレ度

左記

N、本装置ニ依リ 15°C ノ水 50^{cc} カ流下スルニ要スル秒數ハ 26 | 27 秒トス

二、レツドウッド粘度計一號型油壺寸法ハ英國規格（I、P、T、一九二九）ト同筒部ノ深サ其他ニ於テ若干ノ差異ヲ存スルモノノ如ク認ム

元來英國ノ試験器タルヲ以テ本邦ニ於テ如斯改變ヲ要スル理由不明ナルモ大ナル理由ナクハ英國ノモノト同一タラシムルヲ可トス

三月廿八日陸軍ニ在リテハ步兵大佐牛島滿以下十一名、海軍ニ在リテハ海軍

陸軍部 第二九四三號

一〇工規第九七号

昭和十年九月二十三日



工業品規格統一調査會
第二部長

器材

陸軍省

御中

工業品規格統一調査會第二部長第十二委員會ニ於テ石油製品試験器ノ規格統一ニ関シ審議中ニ有之候処今般別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民ヲ通シテ其ノ実行普及ヲ期セラレヘキモノニ有之候ニ付テハ右ニ関スル御意見承知致度候榮来十月二十日迄ニ商工省臨時産業合理局内本調査會宛御同示相煩度此段及照會候也

10月3日
別紙
器材課



一、...
 二、...
 三、...

第九二第

保存期限 三年
 決裁指定
 執行指定
 (印章)

大臣 委	受領番	壹第〇九七號
	件名	工具インシメンク四角部規格中改正ノ件
政務次官	受領	...
	件名	...
局長
主務局長
高級副官
主務課長
主務副官
主務課員
書記官
審案
筆記者

昭和三十二年十月七日
 昭和三十二年十月三日
 昭和三十二年十月三日
 昭和三十二年十月三日

(裁決) 行決 後
 局 長

起元廳(課)名 工業品規格統一委員会
 元 〇九七

執行(決裁)後
 回覽課名

永久甲 市

陸普

回答

陸軍省ヨリノ業品規格統一調査會ハ
昭和十年九月二十八日附口ノ規第100號
ヲ以テ照會セラレタル首題ノ件ニ關シテ
ハ意見見無之候

陸普第六三二八號

昭和十年二月五日

大印

陸普第六三二八號	昭和十年二月五日	陸軍省ヨリノ業品規格統一調査會ハ	昭和十年九月二十八日附口ノ規第100號	ヲ以テ照會セラレタル首題ノ件ニ關シテ	ハ意見見無之候
----------	----------	------------------	---------------------	--------------------	---------

陸普第六三二八號

陸普第六三二八號

4 寫眞撮影ニ關スル事項

5 一般ノ取締、車馬ノ整理、憲兵及警察官ニ關スル事項

留印様多形（掘鑿機ヲ含ム）ニ關スル事項

陸軍省 陸軍部 第一〇〇〇号

一〇工規第一〇〇号

昭和十年九月二十八日

工業品規格統一調査會 第四部長



陸軍省

御中

工業品規格統一調査會第四部第四委員會ニ於テ工具ノシヤンク四角部ノ規格
統一及リリマー（ハンドリマー）規格中改正ニ関シ審議中ニ有之候処今般
別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民又通シテ其ノ実行普及ヲ期セラレハ
キモノニ有之候ニ付テハ右ニ関スル御意見承知致度候条十月末日迄ニ商工
省臨時産業合理局内本調査會宛御回示相煩度此段及照會候也

別紙
十月廿八日

合部... 人員... 令回... 專變... 香... 軍... 六三... 密... 二〇... 代... 密... 管... 警... 察

保存期限 三年		決裁指定 局長		執行指定 牛島		第三	
受領 番號	壹第 二九 九一 號		大臣 委		房官臣大		了結
	起元應(課)名 葉品規格統一調査会		政務 次官		領受		
件名	自動車部分品規格案ニ關スル件		高級 副官		提出		昭和 年 月 日
	參與官		主務 局長		領受		昭和 年 月 日
執行(決裁)後 回覽課名		書記官		連帶		(裁決)行決後 回覽	
牛島		主務副官 官房御用掛 計		長局		長局	
審案 筆記者		主務課員		長課		長課	

政務次官 同付 決裁 前後連帶 課名

執行(決裁)後 回覽課名

永代印

陸普

同答

陸軍省ヨリ工業局規格統一調査會
昭和十年九月二十八日附一〇二規第
九九號照會ニ係ル首題ニ件意見
無之候

陸普第六三二四號 昭和十年七月五日

陸普	同答	陸軍省ヨリ工業局規格統一調査會 昭和十年九月二十八日附一〇二規第 九九號照會ニ係ル首題ニ件意見 無之候	陸普第六三二四號 昭和十年七月五日					陸軍省ヨリ工業局規格統一調査會
----	----	--	-------------------	--	--	--	--	-----------------

陸軍省ヨリ工業局規格統一調査會

同答

社宮司ニ通達ス

合祀セラレタル人員ノ今回ノ事變關係者陸軍七六三、海軍二〇八外務省警察

了二、月作良子等三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、月、南滿州鐵道株式會社社員二二

前通知並ニ參拜案内狀ハ三月三十日迄ニ發送セリ（維新殉難者一名ハ四月六

一〇工規第九九号

昭和十年九月二十八日

陸軍省 第四部 第一九九一號

工業品規格統一調査會

第四部長

陸軍省

御中



工業品規格統一調査會第四部第十二委員會ニ於テ左記自動車部分品ノ規格統一ニ関シ審議中ニ有之候処今般別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民ヲ通シテ其ノ実行普及ヲ期セラルヘキモノニ有之候ニ付テハ右ニ関スル御意見承知致度候案十月二十五日迄ニ商工省臨時産業合理局内本調査會宛御回示相煩度此段及照會候也

記

- 一 自動車用二又接手規格案
- 二 座金規格案
- 三 スプライン接手規格案
- 四 半月キ一規格案
- 五 ユニオン管接手規格案

昭和十年十月一日

別紙



ハ、該案ハ、... 於二、... 併合式、...

第三一號
 牛島
 執行指定
 局長委任
 決裁指定
 三年
 保存期限

大臣 委	件名 石鹼石鹼分析及試驗方法規格第二圖之件		番號 壹第 三〇八五號	受領 壹		
政務次官 次官	高級副官 牛島		起元廳(課)名 工業品規格統一調査會			
主務局長	主務副官 官房御用掛 主務課員		書記官			
主務局長	主務課員		審案 筆記者			
昭和三十二年十月八日	昭和三十二年十月八日	昭和三十二年十月八日		昭和三十二年十月八日		昭和三十二年十月八日
昭和三十二年十月八日	昭和三十二年十月八日	昭和三十二年十月八日		昭和三十二年十月八日		昭和三十二年十月八日
昭和三十二年十月八日	昭和三十二年十月八日	昭和三十二年十月八日		昭和三十二年十月八日		昭和三十二年十月八日

政務次官 回付 決裁前連帶 參與官 課名

執行(決裁)後 回覽課名

永久甲 常

陸軍

陸普

回答

陸軍省より工業品規格統一調査會へ
昭和十年十月四日附一〇二規第一〇四號照
會ニ係ル首題ノ件ニ關スル意見見別紙
ノ通ニ付承知相成度

陸普第六三二六號 昭和十年十二月五日

大司	大司	大司	大司	大司	大司	大司	大司	大司	大司
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

陸普第六三二六號

陸普

(1) 今回ハ行幸ナキヲ以テ報道關係者ハ別ニ願書提出ヲ要セス隨意參觀又
ハ撮影セシメタルモ特ニ指導シタル場合左ノ如シ

別紙

陸軍 官房控

一、本案中ニ使用セル藥品用語ハ標準用語ヲ使用サレ度

例 無水芒硝 ハ 脫水芒硝 ニ

無水アルコール ハ 純アルコール ニ

水酸化ナトリウム ハ 苛性ソーダ ニ

水酸化カリウム ハ 苛性カリ ニ

炭酸アンモニウム ハ 炭酸アンモン ニ

鹽化アンモニウム ハ 鹽化アンモンニ

鹽化カリウム ハ 鹽化カリニ

ロシエル鹽 ハ 酒石酸カリソーダニ

鹽化ナトリウム ハ 食鹽ニ

二、第三章第四條水分定量法中「時間乾燥シテトアルチ」恒重トナル迄「トセラレ度

も時間ニテハ水分充分放出シ難キ場合アリ

尙試料ハ初メヨリ一〇五度ニテ乾燥スル如クアルモ初メハ稍

低温ニテ乾燥シ次ニ一〇五度ニテ乾燥スル如ク考慮セラレ度
 第二、第十六條炭酸アルカリ定量法中「残留物ヲ温湯シ」トアルモ
 「残留物ヲ温湯ニ溶解シ」ノ誤ナラスヤ

第一、	水
第二、	水
第三、	水
第四、	水
第五、	水
第六、	水
第七、	水
第八、	水
第九、	水
第十、	水
第十一、	水
第十二、	水
第十三、	水
第十四、	水
第十五、	水
第十六、	水
第十七、	水
第十八、	水
第十九、	水
第二十、	水

(小林又七印行)

三「ルビオ」試験ニ關ス

3 日ノ本通手貴差三三三二名ハ各既昔ノ内取ニ對シ入部台察天...

器材

陸軍省 第三〇八五號
一〇工規第一〇四号

昭和十年十月四日



陸軍省



工業品規格統一調査會

第二部長

陸軍省

御中

工業品規格統一調査會第二部第十七委員會ニ於テ石鹼、石鹼分析及
試験方法ノ規格統一ニ関シ審議中ニ有之候処今般別紙ノ通決定致度
該規格確定ノ上ハ官民ヲ連シテ其ノ実行普及ヲ期セラルヘキモノニ
有之候ニ付テハ右ニ関スル御意見承知致度候案来十月末日迄ニ商工
省臨時産業合理局内本調査會宛御同示相煩度此段及照會候也

10月31日
別紙
器材課

料ヲ免除セラル

長野縣南安曇郡梓村大字梓九三〇番地
 故步兵上等兵 川村一夫母

保存期限

三年

決裁指定

局長委任

執行指定

牛島

第二 第三

政務次官回付 決裁前後連帶
 參與官課名

執行(決裁)後
 回覽課名

水谷

受領番 喜多第三一〇二號
 起元應(課)名 牛島規格統一調査会
 件名 母線用硬銅導体規格案ニ關スル件

大臣 委

次官

政務次官

委

高級副官

參與官

牛島

書記官

審案 筆記者

主務局長

主務課長

主務課員

主務副官
 官房御用掛
 計

主務局長 受領 昭和三十二年十月九日

局長 連帶

長課

大官 受領 昭和三十二年十月七日

局長

長課

決裁後(執行)

局長

長課

決回(裁)

局長

長課

長

長

陸軍省 第三一〇一號

一〇工規第一〇六号

昭和十年十月八日



工業品規格統一調査會
第三部長



陸軍省

御中

工業品規格統一調査會第三部第十委員會ニ於テ母線用便銅導体ノ規格
統一ニ関シ審議中ニ有之候処今般別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ
官氏ヲ迪シテ其ノ実行普及ヲ期セラルヘキモノニ有之候ニ付テハ右ニ
関スル御意見承知致度候案本月末日迄ニ商工省臨時産業合理局内本調
査會宛御回示相煩度此致及照會候也

昭和十年十月八日
陸軍省 第三一〇一號
器材課

七 經 費 決 算

受 入 部

金五萬壹千百拾貳圓四拾四錢

政務次官 同付 決裁 前一連帶 後一連帶 課名

決行(決裁)後 回覽課名

大 命

保存期限 三年	決裁指定 局長	決行指定 牛島	三三三
------------	------------	------------	-----

受領番 壹萬八千三百一十四	件名 報鋼品規格中改正案三閱不几件	大臣 委	政務次官 局長	高級副官 牛島	主務副官 官房御用掛計	審案 筆記者
受領號		局長	局長	主務課長	主務課員	
提出 昭和十年十月十四日		局長	局長	主務課長	主務課員	
受領 昭和十年十月十四日		局長	局長	主務課長	主務課員	
了結 昭和十年十一月十三日		局長	局長	主務課長	主務課員	
大房官臣大	主務局長	局長	局長	主務課長	主務課員	

長 課 長 課

陸普

回答

陸軍省ヨリ工部省不規格統制委員会
昭和十年十月十二日附一〇五規第一二一號
照會首題「件」ニ関シテハ意見見無之候

陸普第六四九一號

昭和十年十二月十一日

陸普第六四九一號	昭和十年十二月十一日	陸軍省ヨリ工部省不規格統制委員会	照會首題「件」ニ関シテハ意見見無之候
----------	------------	------------------	--------------------

金正萬壹千百拾陸圓四拾四錢

受

借

中 繼 貸 央 真

陸普

陸軍省 第三二〇六號

陸軍省 昭和十年十月十四日 前大臣官房

陸軍省

陸軍省 昭和十年十月十四日 器材課

一〇工規第一一一号

昭和十年十月十二日

工業品規格統一調查會 第一部長

陸軍省

御中

工業品規格統一調查會第一部第四委員會ニ於テ目下被鋼品規格中改正ニ付審議中ニ有之候処今般別紙ノ連決定致度候ニ付テハ右ニ関シ御意見承知致度候榮乍御手致来十月末日迄ニ商工省臨時産業合理局内本調査會宛御回示相煩度此段及照會候也

陸軍省

奉納供物ハ各宮殿下ノ白羽二重ヲ始メ岡田首相、各省大臣、牧野内大臣、貴族院議長、衆議院議長、宇垣朝鮮總督、中川臺灣總督、參謀總長、教育總長

保存期限

三年

決裁指定

執行指定

政務次官回付 決裁前後連帶
參與官回付 決裁後課名

執行(決裁)後
回覽課名

永久乙市

受領番號
壹受第三一五之形
起元應(課)名
工業省規格係一個查分
件名
電氣用銅材、導電支規格案、外五規格改
正案二項附不心件

大臣
局長
主務局長
次官
高級副官
參與官
書記官
主務副官
官房御用掛
主務課員
審案
筆記者

房官臣大	課局務主	了結	領受	出提	領受	號番
昭和 年十一月十三日	昭和 年十一月十日	昭和 年十一月十日	昭和 年十一月十日	昭和 年十一月十日	昭和 年十一月十日	第300
(裁決)行決 覽回後	帶	長局	長局	長課	長課	

三 四

臣 軍

陸軍省

目谷

陸軍省より工業規格院調査令

昭和十年十月十日附一規第一二〇號
照會
係以左記規格案之閣下之意見見無之候

左記 陸普第六四九二號昭和十年二月十一日

- 一、電氣用銅材ノ導電率規格案、
- 二、電氣用銅線規格改正案、
- 三、山形硬銅電車線規格中改正案、
- 四、溝付硬銅電車線規格中改正案、
- 五、架空送電保硬銅檢線規格中改正案、
- 六、平角銅線規格中改正案、

陸軍省 陸普第六四九二號

陸軍省

滋賀縣、衆議院議員、宇野浩二重、中川嘉、參議院議員、藤育、
奉陪共、各官、白、二重、國田首、各、大、地、内、大、貴

八、金、品

器材

陸軍省 令 第三一五二號
一〇工規第一一〇号

昭和十年十月十一日

陸軍省

御中



工業品規格統一調査會

第三部 長



工業品規格統一調査會第三部第四委員會ニ於テ左記工業品ノ規格統一ニ關シ審議中ニ有之候処今般別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民ヲ通シテ其ノ実行普及ヲ期セラルヘキモノニ有之候ニ付テハ右ニ関スル御意見承知致度候条本月末日迄ニ商工省臨時產業合理局内本調査會宛御回示相煩度此及照會候也

記

- 一 電氣用銅材ノ導電率規格案
- 二 電氣用銅線規格改正案
- 三 円形硬銅電車線規格中改正案
- 四 溝付硬銅電車線規格中改正案
- 五 架空送電線硬銅撚線規格中改正案
- 六 平角銅線規格中改正案

陸軍省

保存期限

十年

決裁指定

局長委任

決行指定

牛島

第三五

政務次官
回付
決裁前後
連帶
課名

決行(決裁)後
回覽
課名

受領
番號

壹第二三五〇號

起元應(課)名
工業品規格統一調査会

件名

止ねが規格案ニ関スル件

永谷 審案

大臣

委

委

牛島

政務
次官

參與官

書記官

審案
筆記者

主務
局長

高級
副官

主務副官
官房御用掛

主務課員

主務局

號番
第一九六號

受領

昭和十年
九月二七日

提出

昭和
九月五日

受領

昭和
九月五日

了結

昭和
十月十四日

連帶

局長

長課

決行(決裁)後
回覽

局長

長課

主任

軍

陸普 目 答

陸軍省より工業品規格統一調査會へ
昭和十年七月二十五日附一〇規第八一號照
會首題、件一意見無之候

陸普第四九七二號 昭和十年九月五日

件右の規格統一問題ハ一



昭和十年七月二十五日附一〇規第八一號

陸軍省(東京)より工業品規格統一調査會

陸軍省 回付 共 陸軍省 昭和十年九月五日

陸軍省 回付 共 陸軍省 昭和十年九月五日

招魂式ハ四月廿六日午後八時ヨリ十時十分ニ互リ最モ莊嚴ニ行ハレタリ

一〇工規第八一號 陸軍省 領 壹第二三五〇號

昭和十年七月二十五日

工業品規格統一調査會

第四部長



陸軍省

御中

工業品規格統一調査會第四部第一委員會ニ於テ左記工業品ノ規格統一ニ関
シ審議中ニ有之候処今般別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民ヲ通シテ
其ノ実行普及ヲ期セラルヘキモノニ有之候ニ付テハ左ニ関スル御意見承知
致度候条末八月末日迄ニ商工省臨時産業合理局内本調査會宛御回示相煩度
此段及照會候也

記

一 止ねぢ規格案 (メートルねぢ)

二 全 (ウイットウオースねぢ)

三 全 (メートル細目ねぢ)



陸軍軍樂制八四四廿六日以送式、擬交互出題
 三軍樂制

政務次官回付 決裁前後連帶
 參與官回付 決裁後連帶

保存期限
 決裁指定
 決行指定

大臣 委	受番	件名	産第二三五〇號 止むが規格外案ニ關スル件	政務次官
	領號			政務次官
主務局長	提出	主務局長	秋山	參與官
	領受	副官		
副官	領受	主務課長	牛島	書記官
	了結	主務課員		
大臣	提出	局長	秋山	書記官
局長	領受	課長		
局長	了結	局長	秋山	書記官
局長	了結	局長		
局長	了結	局長	秋山	書記官
局長	了結	局長		

起元廳(課)名ニ業由規格統一調査会

決行(決裁)後
 回覽課名

三三三

陸普

回 答

陸軍省ヨリ工業品規格統調査會ニ
 昭和十年十月十四日一五二規第八一號
 内ヲ以テ照會ニ係ル旨額、件ニ關
 シテハ竟見無之候

陸普第六五二一號

昭和十年十二月十二日

期	新 規 制	新 規 制	件 名	新 規 制	新 規 制	人 員	新 規 制	新 規 制	大 目	新 規 制	新 規 制

陸軍省 回 答

陸軍省

五 軍 樂 隊

陸海軍軍樂隊、四月廿六日以後左ノ通交互出場ス

器材

陸軍 第二三五〇號 其一

一〇工規第八一號內

昭和十年十月十四日

陸軍省

御中

工業品規格統一調査會

第四部 部長



臨時產業合理局



七月二十五日附一〇工規第八一號ヲ以テ工業品規格統一調査會第四部
第一委員會ニ於テ審議相成候止ねぢノ規格統一ニ関シ照會致候也其ノ
後ノ委員會ニ於テ全規格案中更ニ別紙ノ追加致候ニ付テハ右ニ関ス
ル御意見承知致度候矣本月末日迄ニ函工省臨時產業合理局内本調査會
宛御回示相煩度此致及照會候也

昭和十年十月十四日 器材部



四月廿六日招券式

陸軍 戶山學校軍樂隊

四月廿七日臨時祭

午前 陸軍 戶山學校軍樂隊
午後 海軍 軍樂隊

四月三十日列 終

海軍 軍樂隊

保存期限

三年

決裁指定

局長

執行指定

牛島

三之三

政務次官 回付 決裁前(連帶)課名

執行(決裁)後 回覽課名

永久甲

受領番號
受領番號
件名
アソキエニ地名分析方法規格案ニ關スル件
起元廳(課)名
業務品規格統一調査会

大臣委		局長		高級副官		主務副官		主務課員	
政務次官		局長		高級副官		主務副官		主務課員	
政務次官		局長		高級副官		主務副官		主務課員	
政務次官		局長		高級副官		主務副官		主務課員	
政務次官		局長		高級副官		主務副官		主務課員	
政務次官		局長		高級副官		主務副官		主務課員	
政務次官		局長		高級副官		主務副官		主務課員	
政務次官		局長		高級副官		主務副官		主務課員	
政務次官		局長		高級副官		主務副官		主務課員	
政務次官		局長		高級副官		主務副官		主務課員	

陸軍

陸普 同答
 陸軍省より工業身規格統一調査會、
 昭和十年九月十六日附工規第九四
 号照會ニ係ル首題ノ件ニ関シテハ意
 見無也候

陸軍第六五一八號

昭和十年十二月十二日

陸軍省		陸軍省		陸軍省	
大司	大司	大司	大司	大司	大司
陸軍省		陸軍省		陸軍省	
陸軍省		陸軍省		陸軍省	
陸軍省		陸軍省		陸軍省	

昭和十年九月十六日附工規第九四号照會ニ係ル首題ノ件ニ関シテハ意見無也候

四月三十日 派

四月廿三日 派

中野 中野
 中野 中野
 中野 中野
 中野 中野
 中野 中野
 中野 中野
 中野 中野
 中野 中野
 中野 中野

四月十六日 派

陸軍省 陸軍省

陸軍省

陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍省 領 壹第 二八五一 號

一〇工規第九四号

昭和十年九月十六日



工業品規格統一調査會 第一 部 長

陸軍省 御中

工業品規格統一調査會第一節第二委員會ニ於テアソチモン地金分析方法ノ規格統一ニ関シ審議中ノ鑑別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民ヲ通シテ其ノ実行普及ヲ期セラルヘキモノニ有之候ニ付テハ右ニ関スル御意見承知致度候案来十月十五日迄ニ商工省臨時産業合理局内本調査會宛御回示相煩度此段及照會候也
追而御参考ノ為「アソチモン地金規格案」添附致候

昭和十年九月十一日



陸海軍軍用糧食、菓子、愛國恤兵會記念品、繪葉書等ハ左ノ通風呂數ニテ
 包裝シ各戸ニ一箇宛交付スルノ準備ヲ爲ス

四月廿三日

委員、委員附、臨時勤務員ノ一部及少年團員十名、

永久甲 希

政務次官 回付 決裁 後連帶
 參與官 課名

決行(決裁)後
 回覽課名

保存期限 三年		決裁指定		決行指定	
受領番 壹第 三二〇四群		件名 銅板、鋁銅板、アルミニウム板寸法規格 案系改正案ニ関スル件		大臣 委	
局長	主務局長	次官	政務次官	局長	主務局長
高級副官	參與官	書記官	審案 筆記者	局長	主務局長
主務副官	主務課員			局長	主務局長
起元應(課)名 少業多規格統(調査)会				決行(決裁)後 回覽課名	
昭和十年十月十四日		昭和十年十月十四日		昭和十年十月十四日	
了結		領受		出提	
房官臣大		課局務主		號番	

4344

1111

陸軍省 陸普 目答

陸軍省 子業部規格統一調査會
 昭和十年十月十五日附「五」規第一
 一二部照會「原」首題「件」關シテ
 八頁見無之候

陸普第六五二三號 昭和十年十二月十二日

陸軍省	子業部	規格統一調査會	昭和十年十月十五日	附「五」規第一
陸軍省	子業部	規格統一調査會	昭和十年十月十五日	附「五」規第一
陸軍省	子業部	規格統一調査會	昭和十年十月十五日	附「五」規第一
陸軍省	子業部	規格統一調査會	昭和十年十月十五日	附「五」規第一
陸軍省	子業部	規格統一調査會	昭和十年十月十五日	附「五」規第一

陸普

四月廿三日 委員、委員補、調査員、一游及少半團員十名、

調査各員二一箇表交付スルノ筆前ト致ス

陸軍省 陸普第六五二三號 昭和十年十二月十二日

一、發給... 昭和十年十月十五日

日 壹第三二〇四 虎
一〇工規第一一二号

昭和十年十月十五日



工業品規格統一調查會
第一 部 長



陸軍省

御中

工業品規格統一調查會第一部第二委員會ニ於テ左記四件ノ規格統一ニ関
シ審議中ノ処今敢別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民ヲ通シテ其ノ
実行普及ヲ期セラルヘキモノニ有之候ニ付テハ右ニ関スル御意見承知致
度候采末十月末日迄ニ商工省臨時産業合理局内本調査會宛御同示相煩度
候也

記

- 一 銅板ノ寸法規格案
- 一 黄銅板ノ寸法規格案
- 一 アルミニウム板ノ寸法規格案
- 一 日本標準規格第四〇号銅板、同第四一號黄銅板、同四二號アルミニウム板各改正案

昭和十年十月十五日
器材課

一 遺物接待ノ業務ハ總ノ細部ノ實施要領ヲ定メ實施セリ
 二 受付及記念品等ノ交付

四月廿五日正午ヨリ受付及記念品等ノ交付ヲ開始セリ受付人員左表ノ如ク

政務次官 同付 決裁 前連帶
 參與官 後課名

決行(決裁)後
 回覽課名

永久甲 市

保存期限		決裁指定		決行指定		第三八號	
受領番		件名		大臣委		房官臣大	
唐第三四九三號		日本標準規格告示ニ關スル件		局長		了結	
起元廳(課)名		參與官		高級副官		領受	
商工省		書記官		主務副官		昭和 年 月 日	
審案		主務課員		主務課長		昭和 年 月 日	
審案		主務課員		主務課長		昭和 年 月 日	
審案		主務課員		主務課長		昭和 年 月 日	

陸普

同 答

大臣ヨリ商工大臣所田志迄へ

昭和十年十一月十三日件、合理第五四六

号ヲ以テ照會セラレタル六角ナット（メートル

ル物也）外十四件ノ標準規格改正ニ關

シテハ異存無シニ付承知相成度

陸普第六六一六號 昭和十年十二月十八日

日本製鋼所株式會社

昭和十年十一月十三日



國民廿五日五午三受付以備念品等ノ交付ヲ開始ナリ受付人員式奏ノ成

器材

一〇合理第五四四六號

昭和十年十一月十三日

三回九三號

昭和十年十一月十四日 午前 陸軍省

別紙添附

商工省

商工大臣 町田 忠

陸軍大臣 川島 義之 殿

左記十五件ノ標準規格改正ニ付工業品規格統一調査會ノ答申ニ基キ別案ノ通告示改正致度候條御意見至急御回示相煩度此段及照會候也

記

別紙
陸軍省
器材課

陸軍省
器材課

陸軍省
10.11.14
器材課

- 一、六角ナット（メートルねぢ）
- 二、六角ナット（ウイットウオースねぢ）
- 三、六角ボルト（メートルねぢ）磨
- 四、六角ボルト（メートルねぢ）黒皮及半仕上
- 五、六角ボルト（ウイットウオースねぢ）磨
- 六、六角ボルト（ウイットウオースねぢ）黒皮及半仕上
- 七、製圖
- 八、自動車用ボルト
- 九、自動車用ナット
- 一〇、自動車用溝付ナット
- 一一、自動車用溝付低ナット
- 一二、六角ボルト（メートル細目ねぢ）
- 一三、六角ナット（メートル細目ねぢ）

- 一四 溝付ナット（メートル細目ねぢ）
- 一五 溝付低ナット（メートル細目ねぢ）

商
工
省

二 辯 送 出 申 請 書 籍 籍 子 廿 八 日 登 載 七 廿 日 附 送 辨 送 七 準 則 申 請 書
 平 對 十 二 初 二 十 日 結 了 申 請 書 籍 籍 八 登 載 二 自 便 車 二 對 申 請 書 籍 籍 於 該 水 新 機

60

保存期限	三年	決裁指定	局長任	決行指定	牛島	第 三 九 號
------	----	------	-----	------	----	---------

受領番號	卷第三七九〇號	件名	日本標準規格告示ニ関スル件				
	起算處(課)名		商工省				
大臣委		政務次官		局長			
高級副官		主務副官		主務課員			
參與官		書記官		主務課員			
主務局長		主務課員		主務課員			
局長		局長		局長			
昭和三十九年		昭和三十九年		昭和三十九年			
昭和三十九年		昭和三十九年		昭和三十九年			
昭和三十九年		昭和三十九年		昭和三十九年			
昭和三十九年		昭和三十九年		昭和三十九年			

政務次官 回付 決裁 前連帶
 參與官 後課名

決行(決裁)後
 回覽課名

永久甲 常

局長任
 牛島
 局長
 主務副官
 主務課員
 書記官
 參與官
 高級副官
 主務局長
 局長

昭和三十九年
 昭和三十九年
 昭和三十九年
 昭和三十九年
 昭和三十九年
 昭和三十九年
 昭和三十九年
 昭和三十九年

決裁後

行決

行決

行決

行決

行決

行決

行決

行決

行決

行決

行決

行決

行決

行決

陸普

回答

大臣ヨリ商工大臣則田忠治へ

昭和十年十二月十日附一〇合理第五八二

號照會ニ係ル陸用蒸汽罐ノ構造規格ノ

告示ニ関シテハ異存無之候

陸普第七一八二號

昭和拾年十二月拾七日

陸普第七一八二號
昭和拾年十二月拾七日

大臣	陸普	陸普	陸普	陸普	陸普
陸普	陸普	陸普	陸普	陸普	陸普
陸普	陸普	陸普	陸普	陸普	陸普
陸普	陸普	陸普	陸普	陸普	陸普
陸普	陸普	陸普	陸普	陸普	陸普
陸普	陸普	陸普	陸普	陸普	陸普

日本製鐵株式會社
陸普第七一八二號

午後十二時二十分終了ス拜觀後ハ遂次ニ自動車ニ依リ明治神宮外苑水泳場

ニ輸送セ他ノ拜觀老サル遺族ヲ併セ御苑拜觀ヲ準備セシム

七日三時子午在式ヨリ長刀トレ見月アリ又長出ノ祭各人御座草及明治



陸軍省 第一三〇九號

一〇合理第五八一二號

昭和十年十二月十日

商工大臣 町田忠治

陸軍大臣 川島義之 殿

陸用蒸汽罐ノ構造ノ標準規格ニ付工業品規格統一調査會ノ答申ニ基キ別案ノ通告示致度候條御意見至急御回示相煩度此段及照會候也



(別紙添付)

商工省



陸軍省 第一三〇九號

引 82



陸普

通牒

官房ヨリ別紙箇所へ

日本標準規格左記、通昭和十年十月四日商

工者告示ヲ以テ祭表セラルルモノ、文件及未祭

表ノモノ十四件計二十件別紙、通 部送付ス

追テ貴局(軍師團部、廠所校)内配賦部

數ハ昭和十年十月八日附陸普第五七一二號

通牒、通トス

尙未祭表、モノハ逐次官報ニ於テ告示セ

ラルヘキニ付、其、都度目次ニ年月日及番號凡ラ

記入セラル度

蠶繭(蠶安印特選者ヲ網々)ハ予前十朝三十枚送ニ於テ本所特選蠶繭ニ集

六條前特選特選(同日)

天皇ノ威安京ニ賜スル蠶繭ヲ特選ニ一同等ノ蠶繭ノ奉獻ニ懇意ス

左記

陸普第七一六四號

昭和十年十二月十六日

一第二三三號

告示第八三號

二第二二四號

同

三第二二五號

告示第八四號

四第二二六號

告示第八五號

五第二二七號

告示第八六號

六第二二八號

告示第八七號

七第二二九號

未告示

八第二三〇號

未告示

九第二三一號

未告示

十第二三二號

未告示

一、第二三三號

二、第二三四號

三、第二三五號

四、第一九二號

五、第一九三號

六、第一九四號

七、第一九五號

八、第一九四號附錄

九、第二〇六號

十、第二三九號

本館

昭和三十八年

昭和三十八年

昭和三十八年

昭和三十八年

昭和三十八年

昭和三十八年

昭和拾年五月拾八日 卷五 頁五



名 件

日本標準規格部付表

國際聯盟	軍縮委員	軍事調查部	新聞班	政務官	法務局	醫務局	經理局	兵器局	整備局	軍務局	人事局	書記官	官房	席上配布	記室	陸軍省永久保存	應名部數	內	評
			✓			✓	✓	✓	✓	✓			✓				1		
					局長 局員	局長 監事 衛生課	局長 主計課 監査課 衣糧課 警備課	局長 整備課 器材課	局長 動員課 統制課	局長 軍務課 醫務課 馬政課 兵務課 防備課	局長 補任課 恩賞課		大臣次官 副官 官主 文書 住復 印刷 健馬 統計 編修 政史 儀典部 儀仗 圖書						

東京警備司令部	憲兵司令部	陸軍軍醫學校	陸軍經理學校	陸軍造兵廠	陸軍兵器本廠	軍馬補充部本部	陸軍築城部本部	陸軍航空本部	陸軍技術本部	教育總監部	參謀本部	軍事參議院	元帥府	侍從武官府	應名部數	內	評
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	1		
	司令部 總務課 警備課 警備司 警備官 警備員			本廠 造兵所 (平) 支 廠 (十庫 各大小)	本廠 支廠 (十川三 堀 高) (堀出所)	本部 支隊 (豐 對 鐵 津)	本部 支隊 (支 隊 鐵 津)	本部 支隊 (支 隊 鐵 津)	本部 支隊 (支 隊 鐵 津)	本部 支隊 (支 隊 鐵 津)	本部 支隊 (支 隊 鐵 津)	本部 支隊 (支 隊 鐵 津)	本部 支隊 (支 隊 鐵 津)	本部 支隊 (支 隊 鐵 津)	本部 支隊 (支 隊 鐵 津)		

書留 封書 小包 簡 日發送
昭和10年12月 日 部印刷
配布數五二一部 殘九部

七五

本祭典間受付タル遺族及特別參拜者ノ數左表ノ如シ

新 遺 族 舊 遺 族 特 別

保存期限 永久		決裁指定 局長		執行指定 局長	
受領番 二〇三三		政務次官 回付		決裁前後連帶 課名	
件名 日本標準規格配賦ノ件		大臣 陸軍大臣		起元廳(課)名 陸軍省兵器局器材課	
局長 局長		主務局長		主務課員	
高級副官 副官		主務副官 官房御用掛		書記官	
參與官		審案 審記者			
昭和三十二年 昭和三十二年		昭和三十二年 昭和三十二年		昭和三十二年 昭和三十二年	

貳第ニ〇三三號 其二
兵中兵密第一二二号ハ各打譯
於ノ保者ス

貳第ニ〇三三號 其一
第八師司令部ヨリ一連中ハ各打譯
於ノ保者ス

貳第ニ〇三三號 其二
第二十師司令部ヨリ一連中ハ各打譯
於ノ保者ス



陸普

通牒

官房ヨリ別紙箇所へ

昭和十年六月五日及同年九月十日附商工省告示ヲ以テ日本標準規格十六件別紙第一ノ通發表セラレタルニ付 部送付ス

追テ爾今貴局(軍師團部廠所校)内配賦部數ハ別紙第二配賦基準表ニ據ルヘキニ付承知相成度

尚現在迄、既配賦規格ハ第一號ヨリ第一九一號及第一九六號ヨリ第二〇三號迄ナルニ依リ其間缺號ノモノアラハ至急陸軍省兵器局器材課宛請求セラレ度

陸普第五七二一號

昭和十年十月八日

日

大

陸

普

第

五

七

二

一

陸軍省兵器局器材課宛請求セラレ度

本祭典開受付ハ以既賦又弊賦爲替答ノ様式奏ハ成シ

別紙第一

一 商工省告示第四十七號（昭和一九四五）

日本標準規格第二十六號

本規格ハ舊規格中ノ等邊、不等邊及球山形鋼並溝形鋼ノ寸法及重量ヲ改正セシモノナレ共改版セシヲ以テ差替ヘ置カレ度

二 商工省告示第四十八號（昭和一九四五）

日本標準規格自第二〇九號至第二一五號

三 商工省告示第六十八號（昭和一九四〇）

日本標準規格第二〇四號、第二〇五號、第二〇七號、第二〇八號

昭和拾年拾月拾五日

花匠 〰〰〰

餘興掛ノ業務ハ例大祭ヲ通シ四月廿六日ヨリ五月一日ニ至ル六日間實施シ餘

別紙第二

日本標準規格配賦基準表

廳名	部數	内譯
官房	一	統計(一)
軍務局	二	馬政(一) 防備(一)
整備局	二	動員(一) 統制(一)
兵器局	三	銃砲(一) 本糧(一) 建築(一) 修葺(一)
醫務局	一	醫事(一)
新聞班	一	
參謀本部	五	總務部第一課(一) 六課(一) 七課(一) 大學(一) 測量部(一)
教育總監部	三九	本部(五) 步校(一) 騎校(一) 野校(一) 重校(一) 工校(六) 砲工校(一)
陸軍技術本部	四三	本部三(三) 科研(五) 工科(五)
配理局	四	監理(一) 衣糧(一) 建築(一)

陸軍航空本部	六〇	本部(六)監督官(二)一技研(一)〇航空廠(一)一飛校(三)
陸軍築城部本部	一九	本部(七)支部(一二)
軍馬補充部本部	一	
陸軍兵器廠	一六	本廠(六)檢查班(二)出張所(一)支廠(七)
陸軍造兵廠	一七五	本部(二)三火工(三)八名工(二)八大工(三)八小工(三)八平壤(一)〇
陸軍經理學校	一	
陸軍軍醫學校	三	
憲兵司令部	二	司令部(一)朝憲司(一)
陸軍衛生材料廠	二	

與機全員(二)照得(一)其機成(一)賦(一)

千住製鐵所	四	
陸軍獸醫學校	二	
陸軍被服本廠	九	本廠(五) 支廠(四)
陸軍糧秣本廠	八	本廠(三) 支廠(二) 札出(一) 倉庫(二)
陸軍運輸部	一〇	本部(二) 出張所(六) 工場(二)
臺灣軍	七	兵器(一) 經理(二) 飛行第八(二) 要塞(二)
關東軍	二七	兵器(二) 經理(一) 倉庫(一) 要塞(一) 鐵聯(五) 野兵廠(二) 野航廠(五) 飛 第十、第十一、第十二、第十五、第十六 (一〇)
朝鮮軍	六	經理(一) 要塞(二) 倉庫(一) 飛行第九(二)
近衛師團	一三	兵器(一) 經理(二) 鐵聯(四) 電聯(二) 氣隊(三) 飛行第五(二)
第一師團	四	兵器(一) 經理(一) 要塞(一) 戰車(一)
第二師團	三	兵器(一) 高出(一) 經理(一)

千住製鐵所
陸軍獸醫學校
陸軍被服本廠
陸軍糧秣本廠
陸軍運輸部
臺灣軍
關東軍
朝鮮軍
近衛師團
第一師團
第二師團

能樂協會少五流、梅若、淺見ニ依リ四月廿七日ヨリ五月一日ニ至ル五日間正

第三師團	一一	兵器(二)	豐出(一)	經理(二)	飛行第七(六)
第四師團	三	兵器(一)	經理(一)	要塞(一)	
第五師團	四	兵器(一)	經理(一)	電聯(二)	
第六師團	四	兵器(一)	經理(一)	要塞(二)	
第七師團	三	兵器(一)	經理(一)	要塞(一)	
第八師團	二	兵器(一)	經理(一)		
第九師團	二	兵器(一)	經理(一)		
第十師團	二	兵器(一)	經理(一)		
第十一師團	二	兵器(一)	經理(一)		
第十二師團	一二	兵器(一)	經理(二)	要塞(五)	戰車隊(二)
第十四師團	二	兵器(一)	經理(一)		飛行第四(二)
第十六師團	五	兵器(一)	經理(一)	飛行第三(二)	要塞(一)
第十九師團	二	兵器(一)	經理(一)		
第二十師團	四	兵器(一)	經理(一)	飛行第六(二)	

屋組合、柳橋藝妓屋組合、松竹奉納ノ各種演藝ヲ五日間ニ互リ午後六時半ヨ
 リ午後九時半乃至午後十時ニ至ル間實施シ連日多數ノ觀覽者ヲ收容シ盛況ヲ

43

保存期限

三年

決裁指定

局長委任

執行指定

政務次官 回付 決裁 前連帶 參與官 課名

執行(決裁)後 回覽課名

永谷 帝

受領番 壹第参(六)三第
 件名 日本標準規格告示改正ノ件
 起元廳(課)名 商工省

大臣 委

政務次官
 局長 主務
 高級副官
 參與官
 書記官
 主務副官
 主務課員
 官房御用掛
 主計

主務局長 受領 提出
 昭和 昭和 昭和
 年 年 年
 月 月 月
 日 日 日
 署長 第参(六)三第
 局長 日本標準規格告示改正ノ件
 課長 商工省

大臣官房 了結 領受
 昭和 昭和
 年 年
 月 月
 日 日

連帶
 局長 局長
 課長 課長
 主務課員

審案 筆記者

二 四

左

陸普

回答

大臣ヨリ商工大臣町田忠治へ
 昭和十年十二月十一日
 昭理第五八〇
 鋼及ニッケルクロム鋼
 鋼ニ係ル日本標準規格ニツケル
 告示改正ニ関シ
 于ハ異存無シ候

陸普第七三六六號 昭和拾年十二月廿三日



<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>
<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>
<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>	<p>日本製鋼所</p>

リ平送此朝半氏至平送十朝ニ至ハ間賣賦ニ庶日參據ノ購賣者キ必容ニ盛成キ

器材

陸軍省 第一三八七五

一〇合理第五八八〇號

昭和十年十二月十八日

商工大臣 町田 忠 治

陸軍大臣 川 島 義 之 殿

左記二件ノ標準規格改正ニ付工業品規格統一調査會ノ答申ニ基キ別案ノ通告示改正致度候條御意見至急御回示相煩度此段及照會候也

記

- 一、ニツケル鋼
- 二、ニツケルクロム鋼

10.12.10 前午 大臣

商工省

商工省

陸軍省 10.12.10 第1號 器材課

別紙

廿六日E(正)日一日ニ至ハ六日間迄一與上外六モ實施ナリ
 大 六
 三(七)土

20

保存期限

十年

決裁指定

局長控

決行指定

牛島

三四

大臣 委		局長 主務		次官 委		政務 次官		政務 次官		參與 官		書記 官		審 察 筆 記 者	
局長 長		主務 課長		高級 副官		牛島		主務 副官		參與 官		書記 官		審 察 筆 記 者	
局長 長		主務 課長		高級 副官		牛島		主務 副官		參與 官		書記 官		審 察 筆 記 者	
局長 長		主務 課長		高級 副官		牛島		主務 副官		參與 官		書記 官		審 察 筆 記 者	

受領 番 號	件 名	起元應(課)名
第 二 四 〇 三 號	市内電話ケケル規格案ニ関スル件	工業品規格統一調査會

大臣 委	局長 主務	次官 委	政務 次官	參與 官	書記 官	審 察 筆 記 者
昭和十年八月二日	昭和十年八月二日	昭和十年八月二日	昭和十年八月二日	昭和十年八月二日	昭和十年八月二日	昭和十年八月二日

了結	受領	提出	受領	號番
昭和九年九月七日	昭和九年九月五日	昭和九年九月五日	昭和九年九月五日	昭和九年九月五日

決行(決裁)後
 回覽課名

永久甲

陸普

目答

陸軍省ヨリ工業品規格統一調査會ニ
昭和十年一月一日附口工業規第八五號
照會首題、件、意見、見、無、之、候。

陸普第四九七一號

昭和十年九月五日

Table with multiple vertical columns, containing faint handwritten text and a date stamp. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side of the page.

ル者亦多數ニ上リタリ

七花

火

廿六日ヨリ五月一日ニ至ル六日間近歩一堤上^{ニ打上}花ヲ實施セリ

前例ニ依リ興行及露店ノ代表者ヲシテ全般ノ取締ニ任セシメ又憲兵及掛員巡

器材

陸軍省 令第二四〇三號

一〇工規第八五号

昭和十年八月一日



工業品規格統一調査會 第三部長



陸軍省

御中

工業品規格統一調査會第三部第四委員會ニ於テ市内電話ケーブルノ規格統一ニ関シ審議中ニ有之候処今般別紙ノ通決定致度該規格確定ノ上ハ官民ヲ通シテ其ノ実行普及ヲ期セラルヘキモノニ有之候ニ付テハ右ニ関スル御意見承知致度候条末八月末日迄ニ商工省臨時産業合理局内本調査會宛御回示相煩度此段及照會候也

別紙
9月3日
器材課

甲輯第四類其一目次

刑務刑罰

編次番號

件

名

形

主務

年

受

番號

一 收容者臨時免業之件

達

法務

一〇

貳

二八七

合

刑務刑罰

卷

頁

保存期限

永久

決裁指定

決行指定

牛島

政務次官回付 決裁前連帶

軍事

決行(決裁)後
回覽課名

永久甲刑

受領番號

陸軍省

第二二八七號

起元廳(課)名

法務局

收容者臨時免業二關不件
臨時在監者就業免不件

大臣



政務次官

次官

主務局長

參與官

高級副官

主務課長

書記官

主務副官
官房御用掛
計

主務課員

審案
筆記者

森嶋

主務局長

受領番號

法發第一六五號

昭和十年十月三十一日

大臣官房

受領

昭和十年十月廿八日

決行(決裁)後
回覽

局長

連帶

局長

課長

課長

陸

軍

大臣ヨリ 第一、第二、第三^四乃至第八、第十乃至
第十二、第十四各師團長、第十三、第九、第十六
各留守司令官、朝鮮、臺灣、関東各軍司令
官宛~~送達~~

陸普第 號

來ル十月一日ハ官幣大社熱田神宮本殿遷座祭
ニ付當日在監者ノ就業ヲ免ス

昭和十年十月廿二日 陸普第六〇三八號

理由

陸軍監獄令第二十三條ニ因リ臨時就業ヲ免スルヲ適當

トスルニ由ル

陸軍監獄令 抜萃

第二十三條

大祭祝日、靖國神社大祭日、一月一日、二日及

十月三十一日ハ就業ヲ免ス

父母ノ訃ニ接シタル者ハ三日間其ノ就業ヲ免ス

陸軍大臣ハ必要ト認ムルトキハ臨時就業ヲ免スル
コトヲ得

(以下略)

司法部 行刑局 行甲第一四四〇號ノ三

昭和十年十月十九日

司法部行刑局長 岩松 玄十印

陸軍省法務局長 大 山 文 雄 殿

收容者臨時免業ノ件

來ル十一月一日官幣大社熱田神宮本殿遷座祭ニ付當日諸官員ニ休
暇ヲ賜フ旨仰出サレ候ニ付テハ當日ハ一般祭日ノ例ニ倣ヒ收容者
ニ對シ國體觀念ノ涵養ヲ計ルト共ニ改悛促進ノ資ニ供スル爲メ特
ニ監獄法第二十五條第三項ニ依リ臨時收容者ノ就業ヲ免セラレ候
條爲念及通知候

陸軍